



認証・登録番号 : 0008666

認証登録日 : 2012/8/31

平成24年度
(平成24年3月～平成25年2月)

エコアクション21 環境活動レポート



株式会社 OB コーポレーション

発行日:平成25年09月02日



目次

1. 環境方針 ***** Page 3
 (1) 基本理念
 (2) 行動方針

2. 会社概要 ***** Page 4
 (1) 事業所名
 (2) 代表者
 (3) 所在地
 (4) 環境保全関係の責任者および担当者連絡先
 (5) 事業内容
 (6) 認証登録の許可
 (7) 事業規模(平成22年度実績)
 (8) 法人設立年月日

3. 実施体制 ***** Page 5
 (1) 環境経営組織図

4. 環境目標 ***** Page 6
 (1) 電力削減 (5) 一般廃棄物削減
 (2) 燃料削減 (6) 水使用量削減
 (3) 二酸化炭素削減 (7) グリーン購入
 (4) 産業廃棄物削減 (8) 社会貢献活動

5. 環境活動計画 ***** Page 7
 ・ 項目別環境活動計画、数値目標一覧

6. 実績及び評価 ***** Page 8
 ・ 項目別環境活動昨年対比、実績一覧

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、
 次年度の取組内容 ***** Page 9

7. 違反、訴訟等の有無 ***** Page 9
 ・ 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

8. 代表者による全体評価と見直し ***** Page 10





環境方針

基本理念

株式会社OBコーポレーションは、金属リサイクルスクラップ事業を通じて地球にやさしい企業活動を行ってまいりましたが、2012年よりエコアクション21環境経営システムを導入し継続的な改善計画を作成し、全社的に環境教育を実施していくことで、持続可能な循環型社会に貢献していく事を誓います。

行動方針

- 1 金属リサイクルスクラップ事業を通じて、環境に与える影響を踏まえ以下の項目を継続的に推進し、環境負荷の低減に努めます。
 - ① 処理設備や事務所での節電や作業の効率化に取り組み、二酸化炭素の削減に努めます。
 - ② 重機作業、溶断作業に使用する燃料を節約し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ③ 水の使用量の削減に努めます。
 - ④ 環境教育を通じて全作業員の環境への意識向上を図り、自ら責任を持って環境保全に取り組めるよう努めます。
 - ⑤ 金属リサイクル率の向上に努めます。
- 2 事務用品のグリーン購入の推進を図ります。
- 3 環境に配慮した、製品・サービスの促進に努めます。
- 4 3S活動（整理・整頓・清掃）の推進を図ります。
- 5 環境に関する法規制等を遵守します。
- 6 エコアクション21の導入により環境への取り組みについて、継続的な改善を図ります。
- 7 環境保全関連の行政機関・団体などの環境保全施策に協力するとともに、地域社会における環境保全活動に参画し、社会貢献活動を推進します。
- 8 環境方針等必要な情報を従業員に周知し、社会に公表します。

株式会社OBコーポレーション

代表取締役 大場 好夫



会社概要

- | | | |
|-----------------------------|--|--|
| (1) 事業所名 | 株式会社 OBコーポレーション | |
| (2) 代表者 | 取締役社長 大場 好夫 | |
| (3) 所在地 | 〒340-0813
埼玉県八潮市木曽根616-1
(平成22年6月より、本所在地に移転) | |
| (4) 環境保全関係の責任者
および担当者連絡先 | 環境管理責任者 | 大場 新吾 |
| | 担当者 | 井出 三蔵 |
| | 連絡先 | 048-995-8111 |
| (5) 事業内容 | 金属リサイクル業・産業廃棄物中間処理業・産業廃棄物収集運搬業 | |
| (6) 認証・登録の許可 | 古物商 | (登録番号) 第431050019045号
(交付年月日) 平成19年7月5日
(登録団体) 埼玉県公安委員会 |
| | フロン回収 | (登録番号) 92337
(有効期限) 平成26年9月30日
(登録団体) 社団法人日本冷凍空調工業会
日本フルオロカーボン協会
社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 |
| | 産業廃棄物
中間処理業 | (許可番号) 第01120172703号
(許可年月日) 平成25年7月12日
(品目) 廃プラスチック類(軟質で再生利用可能なものを除く)、
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び
陶磁器くず、廃発泡スチロール、廃プラスチック類、
紙くず、繊維くず、金属くず(いずれも再生利用可能なもの) |
| (7) 事業規模
(平成24年度実績) | 産業廃棄物
収集運搬業
(積替え保管を含む) | (許可番号) 第01110172703号
(許可年月日) 平成25年8月22日

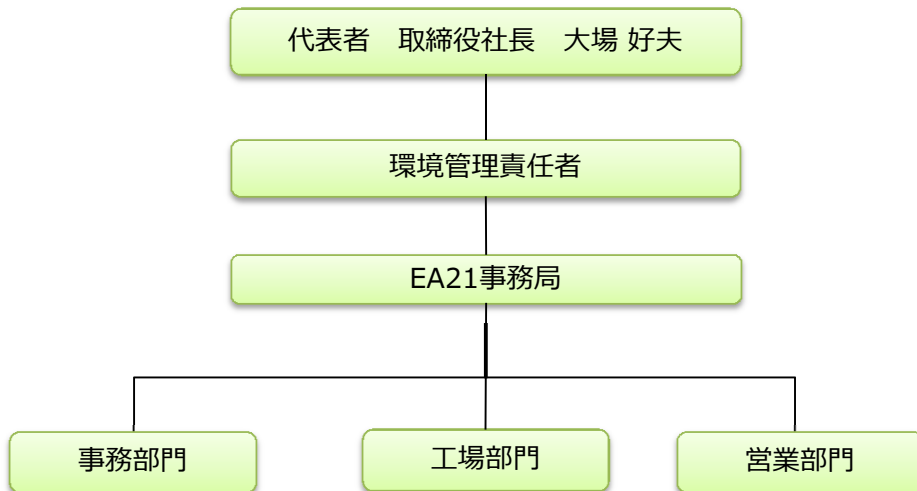
(平成25年8月現在) |
| | 処理量 | 10,255t |
| | 従業員 | 13名 |
| (8) 法人設立年月日 | 事業所延べ床面積 | 3,305㎡ |
| | 平成19年5月24日
(会計年度 3月~2月) | |



実施体制

環境経営組織図

- * 対象範囲 対象組織 : 本社(支店・営業所なし)
 事業活動 : 金属リサイクル業・産業廃棄物中間処理業





環境目標

(短中期目標)

基準年度：平成22年6月～平成23年3月

環境方針	基準年度	短中期目標			
	22年度	24年度	25年度	26年度	27年度
電力削減 単位(Kwh)	—	-3.0%	-5.0%	-7.0%	-9.0%
	103,139.0	101,076.2	101,076.2		
燃料削減 単位(ℓ)	—	-3.0%	-5.0%	-7.0%	-9.0%
	53,349.0	52,282.0	52,282.0		
二酸化炭素削減 単位(Kg-CO2)	—	-3.0%	-5.0%	-7.0%	-9.0%
	179,454.5	174,073.1	174,073.1		
産業廃棄物削減 単位(t)	—	-1.0%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
	70.2	69.5	69.5		
一般廃棄物 単位(Kg)	—	-1.0%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
	—	—	—		
水使用量削減 単位(m ³)	—	-1.0%	-1.0%	-1.0%	-1.0%
	439.4	435.0	435.0		
グリーン購入 単位(品目)	—	4	6	7	8
	—	—	—		
社会貢献活動 単位(回/年)	—	3	4	4	4
	—	—	—		

※ 一般廃棄物・グリーン購入・社会貢献活動の22年度(基準年度)のデータ無し

※ 基準年度比(3月～2月)

※ 22年度(基準年)のデータは6月～2月までしか無かった為、12/9で計算して年間数値を算出





環境活動計画

項目	実施項目
電気使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不要な照明の消灯 ・ OA機器不使用時には電源OFF ・ 温度設定(冷房28℃・暖房20℃) ・ 冷房時の外気導入 ・ 生産工程の合理化
燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ アイドリングの禁止 ・ 重機の点検・整備の実施 ・ 効率的な重機運転の実施
一般廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 両面コピーの実施 ・ 裏紙のメモ帳への有効活用 ・ ミスコピーの削減
産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金属以外の付着物等の異物混入防止 ・ リサイクル業者の開拓
水道使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道蛇口のコマめな開閉操作の遂行 ・ 必要以上の散水はしない ・ 漏水の定期点検
グリーン購入の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコマーク商品の購入・使用の推進 ・ 再生紙の購入・使用の推進
社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会社周辺の清掃活動
環境教育(社員教育)	<ul style="list-style-type: none"> ・ EA教育(環境方針・目標・活動計画の周知)
緊急事態対応訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災対応訓練





実績及び評価

(平成24年度の目標と実績及び評価)

平成22年度(平成22年12月～平成23年2月)の実績と平成24年度(平成24年12月～平成25年2月)の目標と実績

目標項目	平成22年12月～ 平成23年2月実績	平成22年12月～ 平成24年2月目標	実績	評価
電力削減 単位(Kwh)	27,160.0	目標 (-2%)	+14%	×
		101,076.2	117,460.0	
燃料削減 単位(ℓ)	13,556.0	目標 (-2%)	-3%	○
		52,282.0	51,848.0	
二酸化炭素削減 単位(Kg-CO2)	45,970.8	目標 (-3%)	+0.8%	△
		174,073.1	180,939.0	
産業廃棄物削減 単位(t)	18.0	目標 (-1%)	+1%	△
		69.5	71.0	
一般廃棄物 単位(Kg)	—	目標 (-1%)	—	—
		—	29.3	
水使用量削減 単位(m ³)	74.5	目標 (-1%)	-23%	○
		435.0	338.0	
グリーン購入 単位(品目)	—	目標	+4品目	○
		3品目	7	
社会貢献活動 単位(回/年)	—	目標	-2回	×
		3回	1	

※ ○/目標より2%以上達成(グリーン購入は3品目以上、社会貢献活動は目標達成)

△/目標より2%未満達成、(グリーン購入・社会貢献活動は目標達成)

×/目標より2%以上未達成(グリーン購入は1品目以下、社会貢献活動は0回)

※ 電力の二酸化炭素数値は0.384の指数を採用

※ 平成22年度(基準年)のデータは、6月～2月までしか無かった為、12/9で計算して年間値を算出



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

項目	平成24年度活動(平成24年3月～平成25年2月)			平成25年度活動計画(平成25年3月～平成26年2月)		
	取り組み内容	達成状況 (対22年度比)	評価	目標	取り組み内容	
二酸化炭素排出量	電力使用量削減 単位(Kwh)	不要な照明の消灯 OA機器不使用時には電源OFF 温度設定(冷房28℃・暖房20℃) 冷房時の外気導入 生産工程の合理化	目標 (-2%) 実績 (+14%) 未達成	×	-2%	平成24年度は平成22年度の暫定値と比較したが、平成25年度は平成24年度を基準にして取り組みたい。 目標削減率は変更しない。 平成24年度の電気使用量の削減が未達成だった為、二酸化炭素の削減未達成に影響したと思います。 平成25年度は活動を強化し、3項目全達成を目指す。
	ガソリン・軽油の削減 単位(ℓ)	アイドリングの禁止 重機の点検・整備の実施 効率的な重機運転の実施	目標 (-2%) 実績 (-3%) 達成	○	-2%	
	二酸化炭素削減 単位(Kg-CO3)		目標 (-3%) 実績 (+0.8%) 未達成	△	-3%	
廃棄物排出量	一般廃棄物 単位(Kg)	両面コピーの実施 裏紙のメモ帳への有効活用 ミスコピーの削減	目標 (-1%) 実績 (データなし) -	—	-1%	平成24年度は平成22年度の暫定値と比較したが、平成25年度は平成24年度を基準にして取り組みたい。 目標削減率は変更しない。 平成24年度の産業廃棄物の削減が未達成だったので、平成25年度は活動を強化し達成を目指したい。
	産業廃棄物削減 単位(t)	金属以外の付着物等の異物混入防止 リサイクル業者の開拓	目標 (-1%) 実績 (+1%) 未達成	△	-1%	
水使用量	水使用量削減 単位(m ³)	水道蛇口のごまめな開閉操作の遂行 必要以上の散水はしない 漏水の定期点検	目標 (-1%) 実績 (-23%) 達成	○	-1%	平成24年度は平成22年度の暫定値と比較したが、平成25年度は平成24年度を基準にして取り組みたい。 目標削減率は変更しない。 平成24年度は大幅削減できたので、平成25年度
グリーン購入	グリーン購入の推進 単位(品目)	エコマーク商品の購入・使用の推進 再生紙の購入・使用の推進	目標 (4品目) 実績 (7品目) 達成	○	6品目	平成24年度は目標を3品目上回る事ができた。 平成25年度は取り組み内容は変更しないが、目標を6品目に変更し継続達成を目指したい。
社会貢献活動	社会貢献活動の推進 単位(回/年)	会社周辺の清掃活動	目標 (3回) 実績 (1回) 未達成	×	4回	平成24年度は目標未達成だった。 達成可能な目標数字だったと思う。 平成25年度は活動を強化し、目標も変更して取り組んでいき、目標達成を目指したい。

※ 一般廃棄物の基準値データなし (平成22年度活動)

※ ○/目標より2%以上達成(グリーン購入は3品目以上、社会貢献活動は2回以上)

△/目標より2%未満達成、2%未満未達成(グリーン購入・社会貢献活動は目標達成)

×/目標より2%以上未達成 (グリーン購入は1品目以下、社会貢献活動は0回)

※ 平成22年度(基準年)のデータは、6月～2月までしか無かった為、12/9で計算して年間値を算出



環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

環境関連法規の名称	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	違反・訴訟等はありません
埼玉県生活環境保全条例	違反・訴訟等はありません
消防法	違反・訴訟等はありません
下水道法	違反・訴訟等はありません

※ 環境関連法規の違反、関連機関からの指摘、また訴訟、苦情に関して、過去3年間ありません。

代表者による全体評価と見直し

平成24年度の活動を終えて思った事は、目標を達成した項目が増えた事である。
 全社一丸となって取り組んでくれた従業員の皆さんに感謝したい。
 しかし、まだ幾つか未達成の項目があるので平成25年度は取り組み内容の確認、
 活動方法の見直しを行い、全項目の目標達成を目指してほしい。

